

・7月下旬より、高齢者・障がい者の施設や医療機関において、23件の感染クラスターが発生
 ⇒感染予防の徹底・支援に併せて、クラスター発生に際し、早期の収束に向け、感染状況や施設特性に応じた支援を実施

①感染予防の徹底・支援

1. 医療機関に対する研修等の実施

- 院内感染対策研修会(17保健所)
- 医療機関への実地指導(1保健所)
- その他、関係機関会議等で随時周知
 - ・研修資料は府ホームページでも公開

2. 感染防止対策等の支援金の支給

- 医療機関、高齢者・障がい者施設等に対して、感染防止対策費を補助
 - ・消毒等の環境整備、物資購入、研修実施
 - ・導線確保、レイアウト変更の改修
- (予算額 368億円(医療機関等分、うち
 交付決定件数 8月末時点 約500件)、
 127億円(高齢者・障がい者施設分、
 8/28から交付申請受付開始)

3. 感染対策に必要な物資の支給

- 必要な物資を計画的に確保し、医療機関等の要請に応じて供給
 - ・マスク、手袋、個人用防護服等、消毒液

②クラスター発生時の支援 ～初動対応・業務継続の支援～

1. 早期スクリーニング検査の実施

- 保健所が実施した疫学調査に基づき、スクリーニング検査を早期に実施
 - 施設入所者、入院患者、職員等の感染状況を迅速に把握
 - ・23施設で約2,800件の検査を実施

2. 大阪府院内感染対策チームの派遣

- 感染症や感染管理等の専門家の派遣(11か所)
 - ・感染管理の専門知識を有する医師・看護師等を派遣
 - 施設内のゾーニングや防護服の着脱方法等の技術指導を実施
- DMAT(災害派遣医療チーム)の派遣(3か所)
 - ・施設内の物的・人的マネジメントを含めた業務継続体制を支援

3. 患者の重症度に応じた転院調整の実施

- 府入院フォローアップセンターにおいて、コロナ受入病院への入院が必要な患者について、可能な限り早期に入院・転院できるよう調整

4. 必要な物資の供給

- 専門家の指示や対象施設の要請に応じて、必要な物資を迅速に供給

○今後の方針

➡国の対策本部の方針を踏まえ、クラスターが発生した施設等の全職員を対象に一斉・定期的な検査実施を検討